

今日のトピック 2024年6月の注目イベント

日米欧の金融政策決定会合に注目

- 米国では、11日～12日に米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催されます。前会合の議事要旨によれば、参加者はインフレを警戒していることが明らかになりました。しかし、FOMC後発表された雇用統計や消費者物価が落ち着きをみせたことから、経済見通しや利下げ予想がどのようになるのかが注目されます。
- 欧州では、6日に欧州中央銀行（ECB）理事会が開かれます。4月会合の声明文では、インフレが持続的に収まるとの確信が高まれば「金融政策の水準の引き下げが適切になる」と、利下げ転換を示唆していました。このため、コア消費者物価上昇率が鈍化したことを受けて、ECBは利下げに踏み切るとみられます。
- 日本では、13～14日に日銀の金融政策決定会合が開催されます。マイナス金利解除後も円安傾向が続くなか、金融政策正常化に向けて国債買い入れの減額などの修正があるかが注目されます。
- 石油輸出国機構（OPEC）プラスの閣僚級会合が2日に開催されます。原油価格は上値が重い動きとなっているなか、6月末までの自主減産がさらに延長されるかが焦点です。

【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2024年6月）】

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
3日:5月全米供給管理協会(ISM)製造業景況指数 5日:5月ISM非製造業景況指数 7日:5月雇用統計	6日:ECB理事会、ユーロ圏4月小売売上高	2日:OPECプラス会合 3日:中国財新5月製造業PMI 5日:中国財新5月非製造業PMI、豪州1-3月期GDP 7日:中国5月貿易収支、インド金融政策決定会合	3日:1-3月期法人企業統計 5日:4月毎月勤労統計 7日:4月家計調査、4月景気動向指数 10日:4月国際収支、5月景気ウォッチャー調査
11-12日:FOMC 12日:5月消費者物価指数(CPI) 13日:5月生産者物価指数(PPI) 14日:6月ミシガン大学消費者信頼感 18日:5月小売売上高、5月鉱工業生産	13日:ユーロ圏4月鉱工業生産 14日:ユーロ圏4月貿易収支 19日:イギリス5月CPI 20日:イングランド銀行金融政策委員会	12日:中国5月PPI、5月CPI 17日:中国5月小売売上高、5月鉱工業生産、5月固定資産投資 18日:豪州金融政策決定会合 19日:ブラジル金融政策決定会合	12日:5月企業物価指数 13-14日:日銀金融政策決定会合 17日:4月機械受注
21日:6月製造業・非製造業購買担当者景気指数(PMI) 25日:4月ケースシーラー住宅価格指数 26日:5月新築住宅販売 28日:5月個人消費支出(PCE)デフレーター、5月PCE、5月個人所得	21日:ユーロ圏6月製造業・非製造業PMI 24日:ドイツ6月IFO企業景況感指数	27日:メキシコ金融政策決定会合、トルコ金融政策決定会合 30日:中国6月製造業・非製造業PMI	21日:5月全国CPI 25日:5月企業向けサービス価格指数 27日:5月小売業販売額 28日:5月鉱工業生産、5月住宅着工件数、5月失業率、5月有効求人倍率、6月東京都都区CPI

(注) 2024年5月23日現在。日付は現地時間。予定は変わる可能性があります。

(出所) 各種報道等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

チーフリサーチストラテジスト
石井康之（いしい やすゆき）ここも
チェック!2024年4月25日 2024年5月の注目イベント
2024年3月28日 2024年4月の注目イベント

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。